



学校だより 4月号

杉並区立済美養護学校
令和5年4月6日
校長 伴 比佐志

<http://www.suginami-school.ed.jp/sebiyougo/>

「お互いを認め合うこと」

校長 伴 比佐志

＜小学部・中学部の教育＞

学部主任 笹川 健太郎

今年度の小学部は、新1年生18名を迎え、総勢115名となりました。中学部は3月に12名の卒業生がこの学び舎を巣立っていきましたが、今年度新たに20名の1年生を迎え、51名でスタートします。小学部・中学部の教職員が一丸となり、力を合わせて小中9年間の学びの連続性を見据えながら、学部を越えて日々支援・指導してまいります。

小学部の6年間では、「自分できることを増やす」ということを基盤に目標として掲げ、中学部3年間の「仲間と協力する力を育む」目標につなげていきます。

この2つの目標を達成するために、小学部1・2年生は1日でもはやく学校生活に慣れさせることが大切です。初めての学校生活、初めてのクラス替えで子どもたちには少し不安があるかもしれませんが、先生や友達がいるという安心できる環境のなかで少しずつ学校生活に慣れさせながら、日常生活動作や学習姿勢などの基礎・基本の定着に努めていきます。

小学部3・4年生では、1・2年生で定着した力を発揮することのできる授業が増えていきます。それによって、「できること」も増えていきます。これまでの学級や学年内中心の活動から、他学年や他校に目を向けた活動も多くなり、4年生になると済美小学校との交流を行います。低学年で培ってきた興味・関心の幅を広げ、より実践的な経験を積み重ねていきます。

小学部5・6年生になると、「自立」に向けた取組が始まります。宿泊行事等を通して、「自分できる力」を高めるのはもちろんのこと、中学部進学に向け、「他者を受け入れながら共に生活していく力」を養っていきます。様々な学習場面で一人ひとりの個性に応じた役割が与えられ、その役割を責任をもって果たす経験を重ねることで、中学部進学への自信が深まっていきます。

中学部1年生は新たな友達や先生を迎え、新しい集団生活が再びスタートします。まずはその新しい環境に慣れさせることを第一に考えたうえで、作業学習など小学部にはなかった新しい学習活動にも主体的に楽しく取り組めるよう指導してまいります。

中学部2・3年生では将来の生活に向けた、より実践的な「はたらく力」の向上が求められます。普段の授業に加え、宿泊行事や地域のスポーツ大会等の行事を通して、「一人ひとりの良さを伸ばしながら友達と協力しあう」態度を養い、高校生活へのステップアップを目指します。

最後になりましたが、昨年度の卒業式の前日の連絡帳に、このような言葉が記されていました。「済美養護学校で良かった」。保護者の皆様がお子様の成長を感じ、楽しく学校に向かう姿をたくさんお見せすることも大きな目標の一つです。本校に通う全ての子どもが充実した学校生活が送れるよう、教職員一同努めてまいりますので、これからも引き続きよろしくお願いいたします。



「 はじまりの ものがたり 」

副校長 坪池 学

令和5年4月6日。子どもたちが学校に戻ってきました。待ちに待った瞬間です。「おはようございます。」「久しぶりだね。」「今日から学校だね。」など、想いを言葉や表情で示す子どもたちを眺め、再確認した想いがあります。学校の主人公は子どもたちであり、私たち教職員は、子どもたちがいるからこそ先生でいられるということです。そして、私は、済美養護学校で学ぶ子どもたちと保護者の方々のおかげで済美養護学校の一員にさせていただいたのだとを感じるのです。ですから、湧き出る言葉は「学校に来てくれて、どうもありがとう。」です。

昨年度末、長きにわたり本校を愛し、本校の教育活動に貢献してくれた教職員の多くが異動を迎えました。寂しい気持ちがありました。ですが、それ以上に、新しく転任された職員が希望と未来と期待を連れてきてくれました。これまで積み重ねてきた歴史と伝統を受け止めます。そして、今年度の教職員と保護者の皆様、地域の皆様全てで、済美養護学校の45年目の歴史を紡いでまいります。令和5年4月6日。私たちの進化と成長の物語の始まりです。御期待ください。

【今年度で本校を去られる先生、職員の皆様】

これまで、本校の児童生徒のために、多大なる御尽力をいただきました。心から感謝申し上げます。新天地での更なる御活躍を祈念しております。またいつか、必ず一緒に働きましょう！

氏 名	職 層 等	事 由	異 動 先	他
須藤 信之	主幹教諭		目黒区立第八中学校へ	
宇田川 良行	主任教諭		都立足立特別支援学校へ	
神代 美由紀	主任教諭		品川区立第一日野小学校へ	
田中 聡子	主任教諭		世田谷区立祖師谷小学校へ	
玉野 希	主任教諭		都立中野特別支援学校へ	
村上 恵美子	主任養護教諭		江戸川区立葛西小学校へ	
吉田 大亮	主任教諭		都立中野特別支援学校へ	
片山 有香子	教諭		品川区立第一日野小学校へ	
工藤 恵理子	教諭		都立久我山青光学園へ	
佐藤 瞭多	教諭		都立北特別支援学校へ	
早坂 芳草	主任教諭	任期満了	引き続き本校にて	
溝口 妙佳	主幹教諭	退職		
後藤 薫	教諭	退職		
古川 光	教諭	退職		
大谷地 貴絵	養護教諭	任期満了		
金指 達也	教諭	任期満了	都立青鳥特別支援学校へ	
小川 直也	教諭	任期満了	渋谷区立代々木中学校へ	
長沼 佑樹	教諭	任期満了	引き続き本校にて	
森岡 美帆	教諭	任期満了	都立中央ろう学校へ	
本多 由美	教諭	任期満了	引き続き本校にて	
清水野 朱	教諭	任期満了	引き続き本校にて	
喜島 美由紀	事務職	退職	引き続き本校にて	
中村 史子	事務職	任期満了	杉並区立松ノ木小学校へ	
安林 美代子	給食調理	退職		
奥村 桂子	給食調理	退職		
田中 かおり	給食調理	退職	引き続き本校にて	
植木 忍	看護師	退職		
朝倉 深太郎	副校長支援員	退職		
八木 遥	心理士	退職		
小原 美奈子	言語聴覚士	退職		
前田 亜紀	言語聴覚士	退職		
藤澤 真智子	作業療法士	退職		
外丸 敏弘	施設警備	退職	引き続き本校にて	
中西 弥生	ICT 支援員	退職		

【新しく本校に着任された先生、職員の皆様】

ようこそ、済美養護学校へ!!皆様の着任を心からお待ちしておりました。これから“チーム済美養護”の一員として、児童生徒のためお力添えをよろしくお願いいたします。

氏 名	職 層 等	事 由	転 入 先	他
石川 直子	主任教諭		都立清瀬特別支援学校より	
川上 康則	主任教諭		都立矢口特別支援学校より	
黒川 明子	主任教諭		江戸川区立第二葛西小学校より	
松下 夏子	主任教諭		中野区立平和の森小学校より	
南 勇樹	主任教諭		江戸川区立小松川第三中学校より	
横山 まり子	主任養護教諭		練馬区立豊玉東小学校より	
牛尾 文哉	教諭		大田区立都南小学校より	
岡部 恵	教諭		北区立滝野川小学校より	
織田 茜	教諭		練馬区立豊玉第二小学校より	
佐野 克之	教諭		港区立六本木中学校より	
高野 太一	教諭		小金井市立小金井第四小学校より	
林谷 健太郎	教諭		日野市立日野第五小学校より	
古野 達也	教諭		大田区立貝塚中学校より	
宮田 良枝	教諭		杉並区立永福小学校より	
鷲田 勇太	教諭		三鷹市立中原小学校より	
長沼 佑樹	教諭		新規採用	
廣瀬 亜桜	教諭		新規採用	
谷畑 玲那	教諭		新規採用	江東区豊洲小学校より
井桁 順子	教諭		新規採用	中野区立南中野中学校より
本多 由美	教諭		新規採用	臨時的任用教員
清水野 朱	教諭		新規採用	臨時的任用教員
津山 文彦	教諭		新規採用	臨時的任用教員
石井 奈希	教諭		新規採用	臨時的任用教員
早坂 芳草	主任教諭		再任用	
平瀬 和佳子	教諭		育児休業より復職	
倉岡 理保	主任養護教諭		育児休業より復職	
木内 理香子	教諭		病気休職より復職	
喜島 美由紀	事務職		再任用	
奥村 さと美	事務職		杉並区立泉南中学校より	
田中 かおり	給食調理		再任用	
渡邊 定美	給食調理		杉並区立杉並第九小学校より	
川久保 正和	給食調理		杉並区立井荻小学校より	
佐野 友昭	用務		杉並区立大宮小学校より	
鎌形 有紗	心理士		新規採用	
谷川 秀範	作業療法士		新規採用	
玉井 くみこ	作業療法士		新規採用	
外丸 敏弘	施設警備		再任用	
柳 禎子	ICT 支援員		新規採用	
岡安 信二	ICT 支援員		新規採用	



令和5年度杉並区立済美養護学校
学校経営計画（骨子）

令和5年4月6日
杉並区立済美養護学校長
伴 比佐志



＜目指す子ども像＝学校教育目標＞

輝く子ども ー自他を認め、社会の中で生きる力と生きる喜びを育むー

＜目指す学校像 4つの柱＞

- | | |
|-----------|---|
| ①【安全・安心】 | ・安全・安心な教育環境で、児童・生徒が自他を認め、主体的に学校生活を送れる学校 |
| ②【授業の充実】 | ・個別の最適化により、児童・生徒の可能性を最大限に伸ばす学校 |
| ③【地域との連携】 | ・保護者、地域、関係機関等と連携した、地域を愛し地域に愛される学校 |
| ④【組織力の向上】 | ・特別支援教育の専門性を保ち、チームで課題解決する学校 |

【安全と安心】

安全・安心な教育環境を整備し、児童・生徒が主体的な学校生活を送れるよう、健康・人権感覚・人権意識・防災意識を高める教育活動を推進します。

- 学校と家庭が連携し、きめ細かな健康管理を徹底することで、安全・安心な学習環境を整えます。
- 児童・生徒の障害の状況に応じた、安全指導・生活指導の充実を図り、事故ゼロを目指します。
- 生活年齢に応じた指導を行い、児童・生徒の人権を尊重する教育を推進します。
- 実災害を想定した実践的な避難訓練を行い、地域と連携した防災対策・危機管理体制を構築します。

【地域との連携】

保護者、地域、関係諸機関等と連携した、地域を愛し地域に愛される学校を目指し、教育活動を推進します。

- 地域運営学校として、地域の資産を十分に活用し、学校の情報発信を積極的に行い、地域だけでなく広く区民・都民が学校を知る機会を設けます。
- 特別支援教育のセンター校として、保護者・地域のニーズに応じた情報提供及び専門性の発揮を、教育委員会等と連携して推進します。

【授業の充実】

児童・生徒の多様なニーズに応じ、個別最適な学びや協働的な学びを通して、目標達成に向けた学習指導の充実を推進します。

- 児童・生徒の実態に応じた個別指導計画の作成と、適切な評価による学習指導の充実を図ります。
- 個別最適な学び・協働的な学びに、ICT機器やオンライン環境を活用し、学習効果を高める指導の工夫を行います。
- 近隣小学校・中学校、特別支援学級設置校、地域指定校との積極的な交流を通して、将来の社会生活における自立に向けた、生活指導や進路指導の充実を図ります。

【組織力の向上】

特別支援教育の専門性を維持・向上し、チームで課題解決できる強い組織づくりを推進します。

- 適材適所の人事配置を推進し、職層における役割と担当業務の明確化により、円滑な業務遂行ができる組織を構築します。
- 組織的な人材育成に努め、学校全体の学習指導力や専門性の向上を目指します。
- 個人情報情報の紛失や不適切な指導等がないよう、組織的な課題解決を行い、服務事故ゼロを目指します。

今年度の重点

安全・安心の確保

さらなる安心・安全な教育環境の構築を目指します。

登下校時間の短縮、在校生の増加に伴う教室確保、医療的ケアの充実、事故防止、防災教育、人権教育を推進します。

授業の充実

個別に最適化した学習目標を設定し、児童・生徒の主体性を適切に評価することで、可能性を最大限に伸ばします。

児童・生徒の将来像を見据えた適切な学習目標の設定と、主体的に学ぶ姿を適切に評価し、可能性を見出す指導方法を、校内研修を通して推進します。

地域と共にある学校の実現

地域運営学校・センター校として、学校の情報発信を積極的に行い、地域への理解啓発を推進します。

夏祭り・ふれあいアートギャラリーを地域との共催とし、SNSや地域資源を活用して情報発信します。